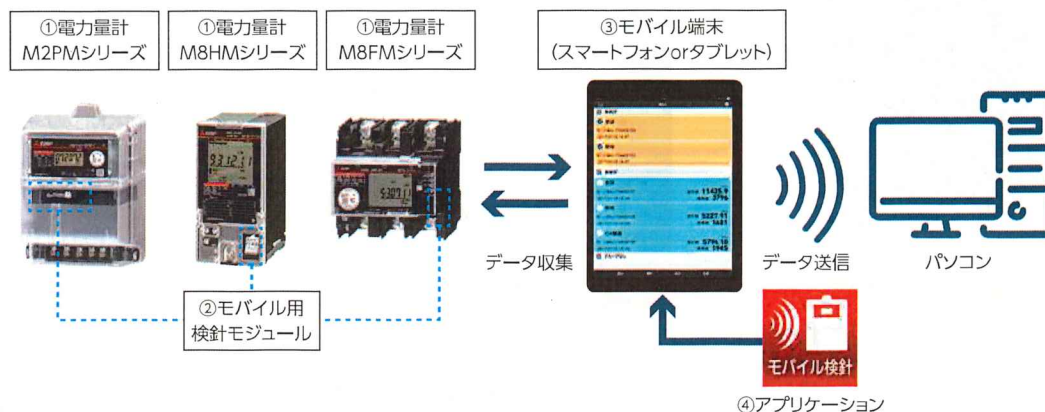


モバイル検針で検針業務を効率化!

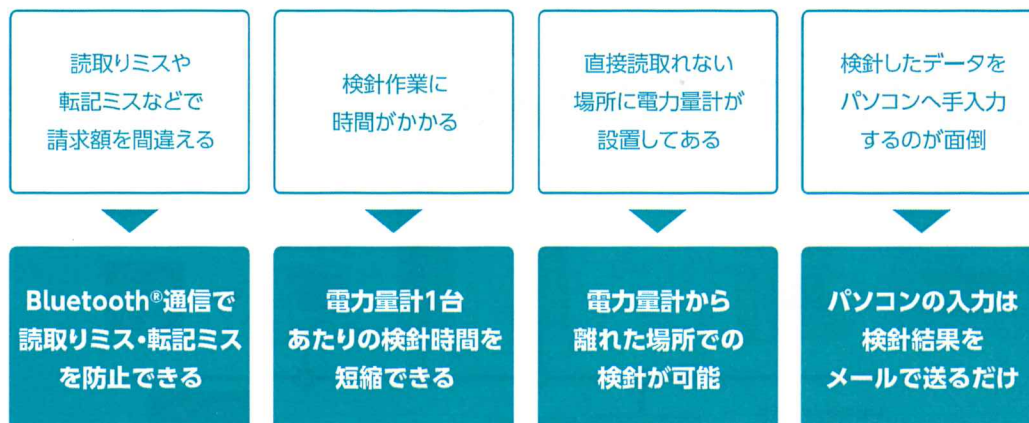
モバイル検針はBluetooth®通信により、モバイル端末へ使用電力量の収集が可能。

さらに取得した計量値データは、CSVファイルとしてパソコンへ送信が可能。

読取りミス・転記ミスが防止でき、電力量計1台あたりの検針時間を大幅に短縮できます。



※モバイル端末はお客様でご準備ください。アプリケーションは無償でダウンロード可能です。



検針読取り時間、約70%短縮!

目視検針と比較した場合の読取り時間、

1台あたり約70%短縮

さらに検針業務時間※は、

全体で約30%短縮

※移動時間・計量値確認・パソコンへの入力時間の合計、
いずれも当社調査による。

■モバイル検針の導入効果(社内事例)

		目視検針	モバイル検針	効果
移動時間		90分	75分	-15分(-17%)
計量値確認・ 記入時間	1台あたり	3分	1分	-2分(-67%)
	全数(9台)	27分	9分	-18分(-67%)
パソコンへの入力時間		2分	1分	-1分(-50%)
全数(9台)あたりの合計時間		119分	85分	-34分(-29%)

モバイル検針なら、
1台3秒で速攻読み込み!

※お客様の通信環境により異なります。



2. 各検針装置紹介

〈モデルL〉

B-AM500LN
B-AM1000LN



B-AM500LN

特長

- ・操作部や表示部を持たないサーバタイプの検針コントローラです。(LAN接続ができるパソコンを別途準備する必要があります。)
- ・あらかじめ設定された日時に自動的に定期検針を実行して検針結果をファイルとして保存します。
- ・検針結果は、Excelファイル出力機能を使用して、メータ毎のデータを貼り付けることができます。
- ・料金計算やテナント毎の集計などは、Excelの関数・リンクを使用して、自由なフォーマットの帳票作成や演算・集計が可能です。
- ・通信は有線(B/NET伝送、PLC通信)と無線(920MHz帯特定小電力無線)を併用して使用できます。
- ・三菱スマートメーター(M5VM・M5CM・M4KMシリーズ)に対応しています。
- ・付属の専用ソフトウェアを用いて時間帯別の簡易請求書を作成することができます。

このような場合にお勧めです

- とりあえず検針データ・使用量を確認したい。
- 安価に自由なフォーマットで帳票作成や演算・集計をしたい。
- 他の課金情報(テナント料金・共益費・各種費用等)と併せて料金請求するため、請求・会計システムが別途準備されている。
- 現場での操作・表示・印字が不要。

導入例



システム構成例(B/NET伝送の場合)

